

<お住まいの町名>

函館市 町 丁目

<函館市の在住期間（通算）>

- 1：1年未満 4：10年以上20年未満
 2：1年以上5年未満 5：20年以上30年未満
 3：5年以上10年未満 6：30年以上

回
答

※ 旧戸井町・恵山町・楳法華村・南茅部町、旧亀田市などの在住期間を含みます。

問2 現在お住まいの地域についてお聞きします。

1) 日常生活において、現在のお住まいの地域をどのように思われていますか。
 1～4のそれぞれについて、「とても良い」から「とても悪い」の中から、
1つ選んで○を付けてください。

※現在の年齢に関わらず、ア)とイ)の両方の問いにお答えください。

ア) 高齢者 以外 にとって

	とても 良い	まあまあ 良い	やや悪い	とても 悪い
1：通勤のしやすさ				
2：通院のしやすさ				
3：日常の買物のしやすさ				
4：休日の外出のしやすさ				

イ) 高齢者 にとって

	とても 良い	まあまあ 良い	やや悪い	とても 悪い
1：通勤のしやすさ				
2：通院のしやすさ				
3：日常の買物のしやすさ				
4：休日の外出のしやすさ				

2) ご自宅の周辺（徒歩，自転車などで行けるところ）に，どのような施設があれば良いと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1：バス停留所，電車停留場，JR駅
- 2：デパートなどの大規模商業施設
- 3：商店街，スーパーマーケット，ドラッグストアなど
- 4：コンビニエンスストア
- 5：金融機関（銀行，郵便局など）
- 6：医療施設（病院，診療所など）
- 7：社会福祉施設（老人福祉センター，デイサービスセンターなど）
- 8：子育て支援施設（幼稚園，保育所など）
- 9：教育文化施設（学校，図書館，公民館など）
- 10：運動施設，公園
- 11：その他（具体的に→

回 答			
--------	--	--	--

3) コンビニ，スーパー，金融機関，医療施設などに 徒歩で行こうとする場合，あなたは，そこまで最大何分まで(所要時間)であれば徒歩で行きますか。次の中から1つ選んでください。

※ 春・夏・秋の晴天時を想定してお答えください。

春
夏
秋

晴天時

【片道・徒歩】

A：0～5分

B：5～10分

C：10～15分

D：15分～

回
答

--

※ 例えば，徒歩では3分までしか行かないという場合 → Aを選んでください。

4) あなたは将来、どのような環境の場所に住みたいと考えていますか。
次の中から 1つ 選んでください。

- 1: まちの拠点（函館駅前・大門，本町・五稜郭・梁川，美原，湯川）とその周辺の医療・福祉・商業等が充実した利便性の高いエリア
- 2: 路線バス，市電の沿線など，公共交通の利便性の高いエリア
- 3: 医療・福祉・商業や公共交通の利用には不便だが，人が少なく閑静な郊外エリア
- 4: その他（具体的に→

回 答	
--------	--

問3 公共交通機関（路線バス，市電，鉄道）の利用についてお聞きします。

1) 普段の公共交通機関の利用状況をお聞きします。
1～3のそれぞれについて、「よく利用する」から「利用しない」の中から、1つ 選んで○を付けてください。

	よく利用する	たまに利用する	ほとんど利用しない	利用しない
1: バス				
2: 市電 (路面電車)				
3: 鉄道				

2) もし **路線バス** を利用するとしたら、徒歩で自宅からバス停留所までかかる時間は、どのくらいまでなら許容できますか。
次の中から 1つ 選んでください。

※ 春・夏・秋の晴天時を想定してお答えください。

春夏秋

晴天時

【片道・徒歩】

A: 0～5分

B: 5～10分

C: 10～15分

D: 15分～

回 答	
--------	--

※ 例えば、徒歩では3分までしか行かないという場合 → Aを選んでください。

3) もし **市電**(路面電車) を利用するとしたら、徒歩で自宅から電車停留場までかかる時間は、どのくらいまでなら許容できますか。
次の中から1つ選んでください。

※ 春・夏・秋の晴天時を想定してお答えください。

春
夏
秋

晴天時

A : 0~5分

B : 5~10分

【片道・徒歩】

C : 10~15分

D : 15分~

回
答

※ 例えば、徒歩では3分までしか行かないという場合 → Aを選んでください。

問4 今後のまちづくりについてお聞きします。

1) 今後、人口減少と少子高齢化が進むことで、あなたの生活に最も影響があるものはどれだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 : 路線バス, 市電等の公共交通の運行本数・路線数が少なくなる
- 2 : 売上の減少により, スーパーや商業施設等が撤退する
- 3 : 病院, 学校, 図書館等の公共公益施設が統廃合される
- 4 : 道路や上・下水道等の維持・更新に必要な, 市民一人あたりの費用負担が増大する
- 5 : 働き手の減少により, 医療・福祉・商業等のサービスの提供が難しくなる
- 6 : その他 (具体的に→

回
答

2) 今後、人口減少と少子高齢化の進行に対応するため、どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 : 便利で住みやすい生活環境を実現するため, 徒歩や公共交通等で移動できる範囲に, 店舗, 病院, 公共施設などを集めていく
- 2 : 人口減少に伴って一人あたりの費用負担が増加しても, 道路や上・下水道, その他の公共施設などを現在のまま維持していく
- 3 : その他 (具体的に→

回
答

問5 最後に、函館市の今後のまちづくりについて、ご提案・ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

A large rectangular area with a solid black border, containing 15 horizontal dashed lines for writing.

アンケート調査は以上です。

9月26日(月)までに郵便ポストに投函をお願いします。

ご協力ありがとうございました。